

6人制野球 楽しんで

阿南で19、20日 小1～3年対象

住宅会社が大会費用寄付



吉積専務（左）から目録を受け取る野村支部長＝阿南市富岡町の阿南ひまわり会館

く。内野のみの6人制で行い、習い始めたばかりの児童に試合の面白さを知ってもらおう。

阿南支部の少年野球チーム10チームが参加。初日は3グループに分かれてリーグ戦を行い、2日目は決勝トーナメントで順位を決める。投球数を抑えるため、各打者に対して1ボール1ストライクから始める。マウンドと本塁の距離や塁間を短くするほか、内野の後方にフェンスを設け、打球が越えれば本塁打とする。

大会は野球人口の裾野を広げようと、市内の住宅会社「たいようホーム」が開

催費を出して昨年初めて開かれた。今回は2回目。

大会に先立ち、6日に同

市富岡町の阿南ひまわり会館で寄付金の贈呈式があり、同社の吉積直人専務が「児童が楽しんでプレーで

きる機会をつくっていった」と、野村隼人支部長(福井若竹監督)に目録を手渡

費用を同社が負担する。

(岸和弘)

県学童軟式野球連盟阿南

支部(阿南市)は19、20の内見能林、羽ノ浦、今津両日、小学1～3年生を対

象にした軟式野球大会を市

の3小学校グラウンドで開